

地域と連携した  
緑の道づくり

国土交通省 中部地方整備局  
飯田国道事務所

〒395-0024  
長野県飯田市東栄町3350番地  
電話 (0265) 53-7200 (代表)  
ファックス (0265) 53-7210  
Eメール cbr-iikoku@mlit.go.jp

# 飯田国道 NOW

飯田国道事務所からのお知らせ

平成30年6月20日

迅速な災害対応のために

**初動対応・災害対策用機械等操作訓練を行います。**

～東日本大震災、平成26年発生の南木曾町土砂災害や御嶽山噴火災害にも出動～

## 1. 概要

災害発生時、迅速に対応するための初動対応訓練及び「照明車」「待機支援車」「衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)」等の災害対策用機械・通信機器の操作訓練を実施します。

この訓練は、職員による機械操作の確認を行うことにより、災害時に迅速かつ適切な対応を行うことを目的としています。

「照明車」「待機支援車」は、東日本大震災を始め平成26年に発生した南木曾町土砂災害、御嶽山噴火災害の際にも現地に出動し災害対応の任務にあっています。

なお、当日は、飯田広域消防本部の方々にも災害対策用機械等の操作説明に参加いただき、災害対応における連携強化を図ります。

## 2. 日時

6月25日(月)(小雨実施)

13時30分～15時30分

15時30分～16時30分

初動対応・災害対策用機械等操作訓練

飯田広域消防本部の方々を対象とした  
災害対策用機械等の操作説明

## 3. 場所

飯田国道事務所 飯田市東栄町3350

## 4. 資料

別添のとおり

## 5. 解禁

指定なし

## 6. 配付先

飯田市役所記者クラブ、木曾合同庁舎記者室、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ

## 7. 問い合わせ先

国土交通省 飯田国道事務所

副所長 かみはら しげいち  
上原 繁一

管理第一課長 よしひ ひであき  
吉井 秀明

TEL: 0265-53-7205

FAX: 0265-53-7212

※取材いただけます場合は、事前にご連絡ください。

飯田国道事務所公式Twitterアカウント

[https://twitter.com/mlit\\_iida](https://twitter.com/mlit_iida)

\* Twitter始めました

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

# 当日訓練する災害対策車両

## ＜待機支援車＞ 災害現場の活動を支援します。

### ■仕様

車体寸法	(全長×全幅×全高) 8.31×2.49×3.43m
最低地上高	170mm
運転免許	普通自動車免許
乗車定員	2名
使用燃料	軽油 タンク容量 100L
駆動方式	前後輪駆動
最低設置必要人数	1名
室内寸法	(全長×全幅×全高) 6.00×2.35×2.03m
車両重量	7,460kg
車両総重量	7,570kg
車両エンジン出力	162kw
仮眠可能人数	9名



## ＜照明車＞ 災害現場をライトで照らし、夜間作業を支援します。

### ■仕様

車体寸法	(全長×全幅×全高) 4.69×1.90×3.35
運転免許	普通自動車免許
乗車定員	2名
使用燃料	軽油
駆動方式	前後輪駆動
最低設置必要人数	1名
車両総重量	4,700kg
照明灯	メタルハライドランプ2kw×6灯
照明格納方式	鉛直伸縮柱式
照明装置最大地上高	10m
照明装置の旋回角度	360度
照明装置のアーム仰角	90度
カメラ装置	CCD 15倍ズーム



### 【東日本大震災に出動した状況】



にこりがわとざんぐち  
濁川登山口 (王滝村)

### 【御嶽山噴火災害に出動した状況】



田ノ原駐車場 (王滝村)

王滝村から要請を受けKu-Sat (本局) と照明車による監視活動への支援 (飯田照明車9/29~10/5)

登山口に照明車を派遣し、夜間の下山者、救助活動への支援 (9/27~28)

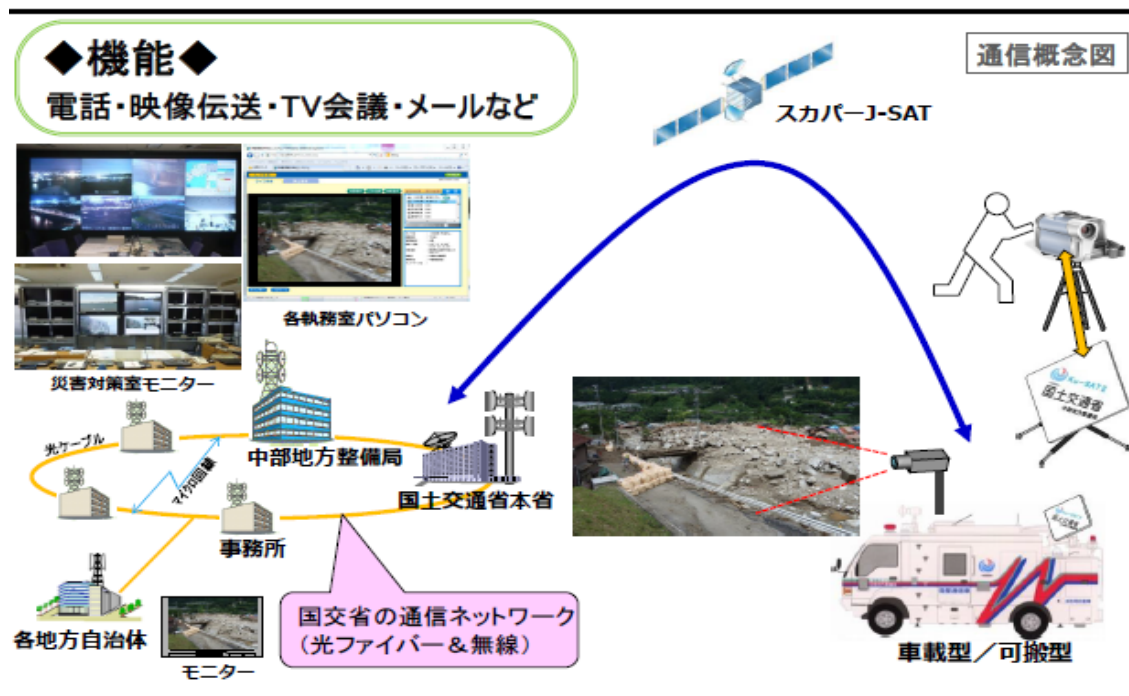
訓練に使用する2台の車両は、東日本大震災の際、東北に応援出動し、電気の途絶えた被災地で、復旧作業を支援しました。また、平成26年7月の南木曾町土砂災害や9月の御嶽山噴火災害の際にも支援活動を行っています。

## 当日訓練する衛星小型画像伝送装置

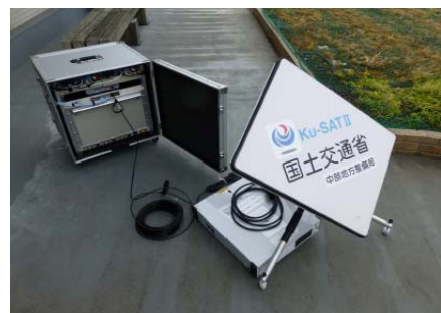
# Ku-SAT

(Kokudokoutsuu Universal Small Aperture Terminal)

『衛星小型画像伝送装置』  
—災害現場とリアルタイムに相互通信します—

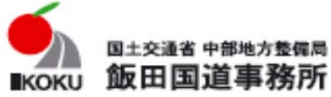


- 災害現場の映像を現場から災害対策本部へ動画で送ることができ、本局及び事務所のテレビでそのカラー映像を見ることができます。
- 可搬式で衛星通信車が行くことができない災害現場で使用できます。
- 現地でパソコンも利用できます。
- 電話としても利用できます。
- 軽量、小型、デジタル式です。
- 無線の免許保持者がいなくても操作ができます。



Ku-SAT(可搬型)

【参考】 昨年の訓練の様子



# 災害対策機械等操作訓練を実施

地震・大雨等に備え職員31名が参加し、初動対応訓練・通信機器操作訓練・災害対策用機械操作訓練を実施しました。



Ku-Satの訓練

6月26日(月)13:30～15:30  
災害対策室、駐車場等



ホームページアップ等パソコン操作訓練



初動訓練



照明車の操作訓練



消防・近隣自治体の皆様



担当者の操作説明

当日は、天竜川上流河川事務所の排水ポンプ車も展示し、職員の訓練後には、阿南町職員3名・松川町職員1名・飯田広域消防本部10名の皆様に見学・意見交換していただきました。